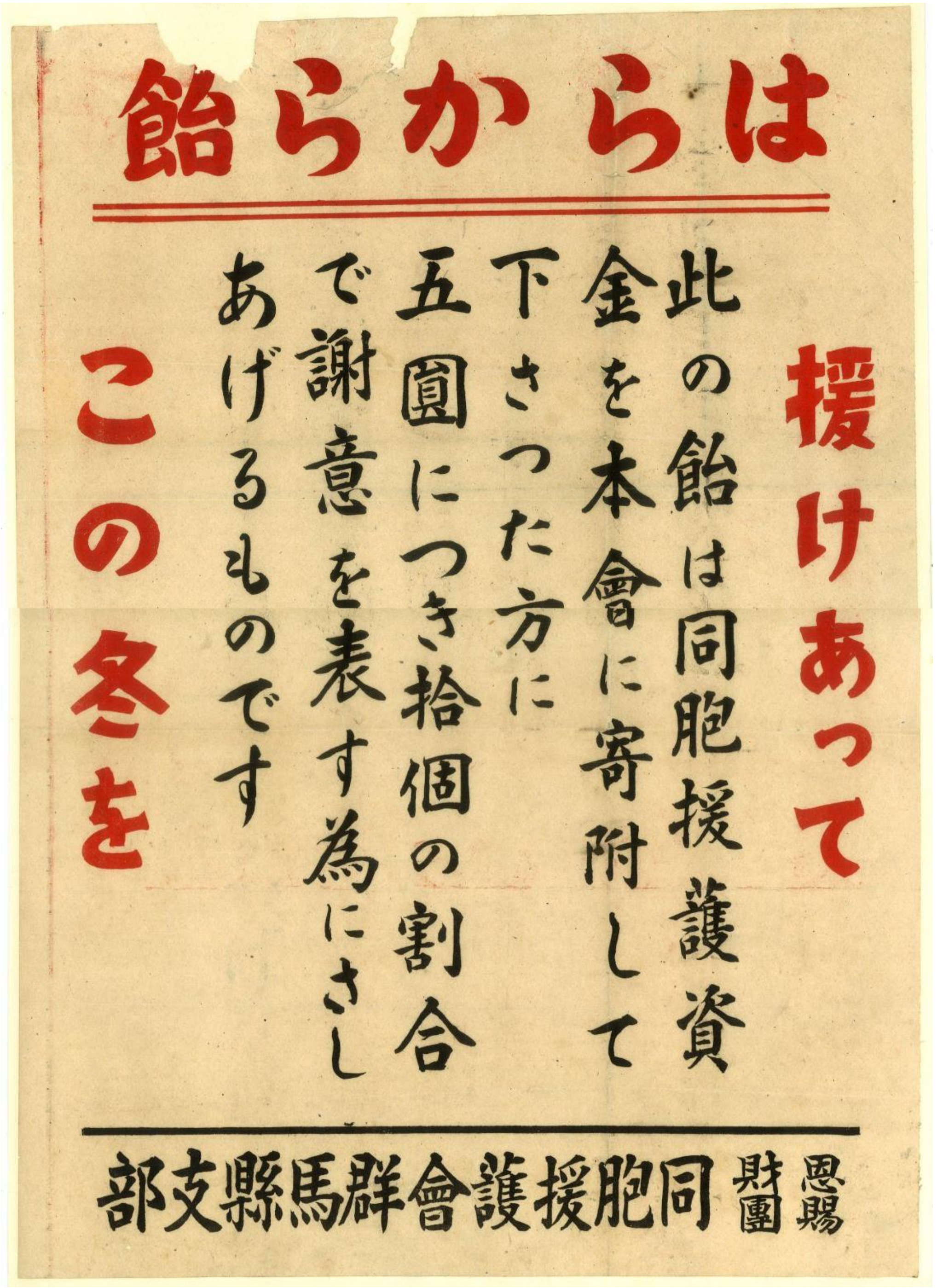

20〔ポスター〕はらから飴　援けあってこの冬を

昭和 26（1951）年以前

同胞援護会群馬県支部が販売した「はらから飴」の宣伝ポスターです。

飴の売上は福祉事業の財源として用いられ、県民が互いに支え合う精神を象徴する取り組みでした。彩色を施したポスターで、当時の募金活動の雰囲気をよく伝えています。

西片恭子家文書『〔ポスター〕はらから飴　援けあってこの冬を』（P01506 158）